

- ▶ 碧南市では、森林環境譲与税を財源として、地域の森林整備促進に寄与するため、地産材を利用して市民病院で使用する机・椅子の更新を行った。
- ▶ 令和7年度においては、市内小学校の児童用机及び碧南市民病院の待合室等に使用する机・椅子の更新を予定している。

□ 事業内容

碧南市民病院の待合室等の机・椅子の更新

- ・ 碧南市民病院内の救急外来待合室、1階打合せコーナー、2階手術室前廊下、手術患者家族待合室、講義室前待合等の机・椅子の更新を行った。

【事業費】 8,472千円（うち譲与税8,000千円）

【実績】 机 計 9台
椅子 計 32脚



救急外来待合室



1階打合せコーナー



手術室前廊下



講義室前待合

□ 工夫・留意した点

・ 救急外来待合室においては、立ち上がりが困難な人に配慮し、背もたれのさらに背後に手すりが付いたものを選定した。

また、隣の座席との間の肘掛けは、収納可能なものを選定し、患者が横になりベッドとして利用できるよう配慮した。

・ 仕様書に「家具に必ず愛知県産材（又は国産材）を使用することとする。」という文言を明記し、地元産材の木材の使用を促した。

□ 取組の効果

・ 愛知県産材を用いた机・椅子を導入することで、県内の森林整備促進に寄与するとともに、市民病院における備品整備が図られた。

・ 患者からの喜びの声が届いた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：8,124千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：72,458人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より